

第 21 回「なまずの会」研修会

伊東 博*、板寺一洋*

1. はじめに

「なまずの会」では、地下水位観測者を対象に地震の知識を深めるとともに、会員相互の親睦・交流を図ることを目的に、年 1 回研修会を開催しています。平成 12 年度は、2001 (平成 13)年 2 月 2 日(金)に第 21 回の研修会を開催しました。

今回は、神奈川県内の綾瀬浄水場、神奈川県警察本部を研修地としました。研修地の位置を図 1 に示します。研修会は、神奈川県、東京都、埼玉県、静岡県から 14 名の方々に参加いただきました。事務局の温泉地学研究所からは、研究部長以下 4 名の職員が同行しました(表 1)。

当日は、9 時 30 分横浜駅西口天理ビル付近に集合し、大型バスで綾瀬浄水場、神奈川県警察本部に移動し、施設見学を行いました。本報告では、綾瀬浄水場、神奈川県警察本部及び相模野台地の概要と研修時の様子などをまとめて報告します。



図 1 研修地の位置

*神奈川県温泉地学研究所 〒250 - 0031 神奈川県小田原市入生田 586
報告, 神奈川県温泉地学研究所観測日より, 通巻第 51 号, 53-58, 2001.

2. 綾瀬浄水場の見学

綾瀬浄水場は、神奈川県内広域水道企業団の相模川水系建設事業の一環として、綾瀬市南端の丘陵地に建設された浄水場です。

浄水場では、宮ヶ瀬湖、相模湖、津久井湖などに貯められた相模川の水を、下流の海老名市に設置された「相模大堰」から導水ポンプにより、約5.1kmの導水管を経て導水しています。この原水を浄水処理し、送水管を通して、神奈川県企業庁水道局、横浜市水道局及び横須賀市水道局に供給しています。

浄水場では、浄水係の佐々木氏から、2階会議室で大型スクリーンを用いたスライドやビデオにより、神奈川県広域水道企業団や綾瀬浄水場の概要を説明していただきました(写真1)。また、環境との共生と題した相模川の自然についてのビデオ映像も見せていただきました。これらの説明の中で、水道企業団は、各水道局に水を卸している問屋であること。浄水場では「安全な水」を供給していますが、塩素濃度の基準値と塩素濃度の低い「おいしい水」との兼ね合いに苦労していることなどについて、興味深く聞きました。会議室での説明の後、浄水場の端に位置する着水井までバスで移動し(図2)、時折小雪が舞う中、歩きながら沈でん池、ろ過池などの説明を受け浄水場施設を見学しました(写真2)。見学後、浄水場正面玄関を背景に記念写真を撮り、桜木町のランドマークタワーに向かいました。ランドマークタワーでは、各自で三々五々昼食を取り、お土産物などを買った後、警察本部に向かいました。

なお、バスの移動中は、参加者の自己紹介や近況報告あるいは観測を行う中での疑問や質問などマイクを回しながらの車中でした。伊勢原市の及川さんは地下水位のほかに、地電流の観測を行っておりますが、磁石を用いた新たな測定方法を検討していることを報告していただきました。新座市の鈴木さんは、新座市から依頼され、長年測っておられる地下水位データを周辺地域の地下水位の経年変化などを調査するための資料として、提供したことを報告していただきました。世田谷区の濱田さんは、長期的なデータに関して降雨量などとの相関を解析し、地下水位の経年変化等について



写真1 研修会参加者(綾瀬浄水場にて)



図2 綾瀬浄水場平面図

個人で調査したいというような御意見をいただきました。これらについて事務局の温泉地学研究所では、長期間にわたる会員の皆様のデータを利用させていただき、地下水位における長期的な地域環境の解明などを進めていること。また、長期間のデータ利用については、他の研究機関で行われているインターネットを利用する方法を「なまずの会」としても将来的に検討していきたいと答えさせていただきました。



写真2 研修会参加者(綾瀬浄水場にて)

3. 神奈川県警察本部の見学

神奈川県警察本部では、駐車場でバスを降りた直後、各自に首から下げる見学者用カードが配られ、一同少し緊張しながら受付を通過しました。本部内では、指定場所以外では写真撮影は行えないことが伝えられ、見学者説明室、展望ロビー、交通管制センター、通信司令室、警察広報センターを2人の専門の女性係員に案内していただき見学しました。見学者説明室では、52インチの大画面プロジェクタ2基を用い、警察の仕事をビデオ映像でわかりやすく解説していただきました。現在の警察本部は、1991(平成3)年12月に新築され、年間約3万人の見学者が訪れるそうです。この説明室では、35席ある座席にセレクトスイッチが備え付けられ、見たい説明ビデオのタイトルを見学者の多数決で選ぶことが出来るなどの工夫が見られました。

地上83メートルの位置にある展望ロビーでは、天候が悪かったのですが、眼下に神奈川県庁、横浜港、みなとみらい地区などが見られました。晴れていれば、遠くに富士山や新宿副都心などが一望できるそうです。

通信司令室は、神奈川県下の110番を、すべてこの部屋で受け付けています。入電後、現場に近い警察官に無線で指令を出して、できるだけ早く警察官を現場に派遣します。平成12年度の110番件数は103万件にも達し、1日当たり2900件であったそうです。しかし、これらの110番通報のうち、3割から4割は無言電話やいたずらによるものが含まれているそうです。また、見学中にも頻繁に110番通報が入っている様子が伺えました。

交通管制センターでは、県内の道路情報が一目でわかる大型地図板や交通量監視カメラなどの最新機材を用い、常に最新の道路情報を把握し、渋滞の緩和や事件、事故、災害時の大規模な交通管制などの仕事をしています。主要交差点に設置した監視カメラはセンター内で操作され、最新の状況がモニターされています。また、これらの交通情報は、センター内に設置されたラジオ局各社のブースから定期的に放送されていることを説明していただきました。



写真3 研修会参加者(神奈川県警察本部にて)

警察広報センターでは、各コーナーごと

にマルチメディア端末を用い、様々なクイズ形式などから警察の仕事を知ることが出来るようになっています。また、交通危険箇所を仮想体験できる「交通安全シミュレータ」や、白バイの実車展示をはじめ、幕末から昭和までの警察装備品や現在使用している警察装備品などが展示されています(写真3)。

4. 相模原台地のなりたちと綾瀬市付近の地下水(研修会資料抜粋)

神奈川県ほぼ中央部には相模原台地が広がっています。相模川と多摩丘陵の間に開けたこの台地の形成は、相模川の歴史と深く関わっています。相模川は現在の姿にいたるまでの間、図3のように流路を変えたと考えられています。相模原台地は、相模川が侵食と砂レキの堆積を繰り返して出来た地層に、富士山や箱根を起源とするローム層が降り積も

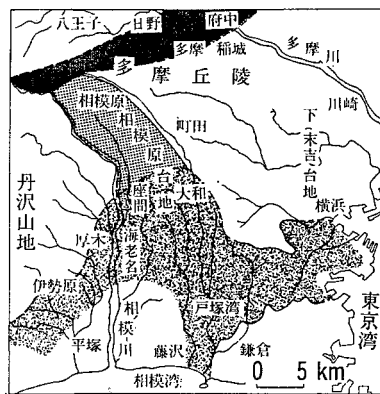


図3-1 58万~50万年前の相模川



図3-2 25万年前の相模川



図3-3 18万~13万年前の相模川

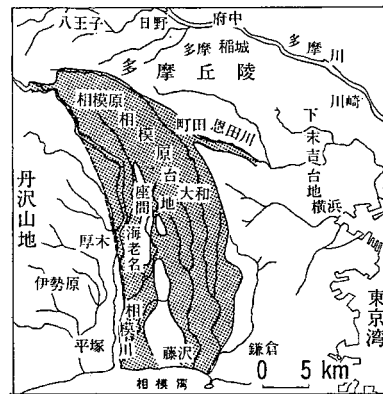


図3-4 7万~5万年前の相模川

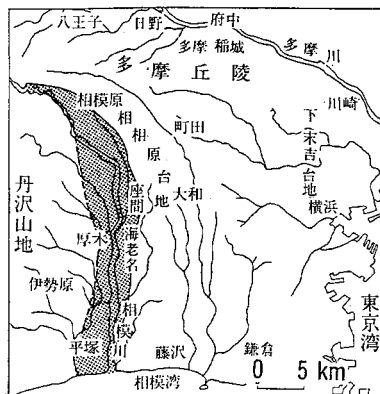


図3-5 3万~2万年前の相模川

- 凡例
- 昔の海
 - 昔の相模川
 - 昔の相模川(約55万年前)

図3 相模川の流路の変遷(岡重文; 神奈川の自然をたずねてより)

ることで形成されたのです。

相模原台地は上下4段の河岸段丘から構成されており、レキ層を覆うローム層に基づいて座間丘陵、高座丘陵、相模原面、田名原面および陽原面に区分されています(図4)。

相模原台地中央のやや南部に位置する綾瀬市周辺では、厚さ20m程度のローム層が段丘レキ層(相模野レキ層)を覆っています(図5)。ローム層中を浸透した雨水は、レキ層に達し、地下水として流下します。綾瀬市やお隣の座間市では、引地川や目久尻川に沿った崖沿いに露出したレキ層から地下水が湧出している様子を観察することができます。

5. おわりに

今回で、21回を迎えた研修会は参加者の方々の協力によって、無事に終了することができました。研修会に参加いただきました会員の方々には、この研修会が日々の観測等の一助になれば幸いです。

年1回開催している「なまずの会」研修会ですが、今後も会員の方々との親睦と交流を深めていきたいと考えております。今回は2月の寒い時期の開催となり、綾瀬浄水場では小雪が舞うなか、参加者の皆様にはご迷惑をおかけしました。次回は秋頃までに開催を予定しておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

参考文献

- 大木靖衛監修 (1992) 神奈川の自然をたずねて, 築地書館, 285p.
 久保純子 (1988) 相模野台地・武蔵野台地を刻む谷の地形, 地理学評論, 61(1), 25-48.
 岡重文、島津光夫、宇野沢昭、桂島茂、垣見俊弘 (1979) 藤沢地域の地質, 地域地質研究報告(5万分の1地質図), 地質調査所, 111p.

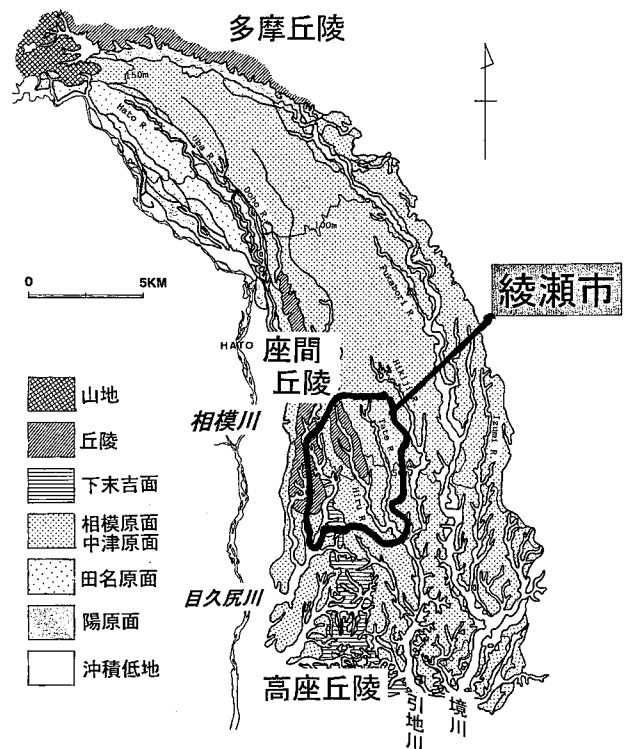


図4 相模原台地の地形区分図(久保;1988に加筆)

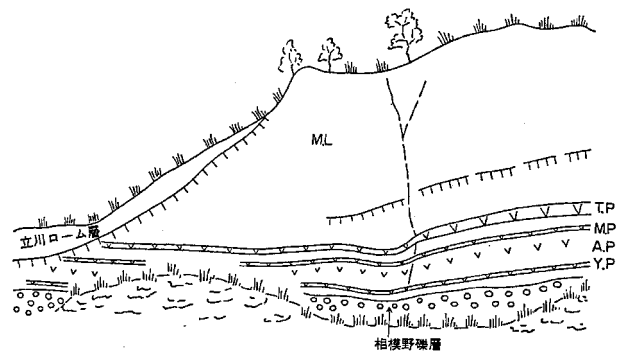


図5 綾瀬市吉岡の崖のスケッチ(岡ほか, 1979)
 MLは武蔵野ローム層を、TP,MP,AP,YPは、それぞれ軽石層を示す。

表1 研修会参加者名簿

No.	名 前	住 所
1 5 10	鈴木 士郎	埼玉県 新座市
	鈴木 さと子	埼玉県 新座市
	濱田 穀一	東京都 世田谷区
	村田 一郎	東京都 八王子市
	大木 博子	神奈川県 平塚市
	及川 雄一	神奈川県 伊勢原市
	神林 清海	神奈川県 鎌倉市
	初瀬川 彰	神奈川県 小田原市
	初瀬川 信子	神奈川県 小田原市
	大木 栄	神奈川県 伊勢原市消防本部
佐藤 崇広	神奈川県 伊勢原市消防本部	
三田 哲郎	神奈川県 綾瀬市消防本部	
伊沢 清次	神奈川県 秦野市	
田中 正人	静岡県 福田町	
事 務 局		
15	横山 尚秀	神奈川県 鎌倉市
	伊東 博	神奈川県 伊勢原市
	松沢 親悟	神奈川県 南足柄市
	板寺 一洋	神奈川県 厚木市
計		18名



写真4 研修会参加者(綾瀬浄水場にて)